

第Ⅱ章 研究の目的及び方法

第1節 研究の目的

自立活動は、個々の子どもの実態を的確に把握して指導目標や指導内容を設定するため、担当教員には障害に対する理解と専門性が求められる。特別支援学級の担当教員は、特別支援教育の重要な担い手であり、その専門性が校内の他の教員に与える影響は極めて大きい（中央教育審議会初等中等教育分科会，2012）が、現状では担当教員の経験年数が短く、特別支援学校教諭免許状保有率は約30%であるため専門性の担保は喫緊の課題である。また、特別支援学級では、「自立活動をどのように組み立てたら良いかわからない」（国立特別支援教育総合研究所，2014）ことが課題に挙げられている。これらのことを踏まえると、自閉症のある児童生徒の自立活動の指導を進めていくに当たっては、同様の課題が担当教員に存在するのではないかと推察される。

そこで、本研究では、特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒に対する指導の充実を目指して、小・中学校の特別支援学級（自閉症・情緒障害特別支援学級、知的障害特別支援学級）における自閉症のある児童生徒の自立活動の指導の現状と課題を把握することを第1の目的とする。また、特別支援学級での自立活動の時間における指導に焦点を当て、アンケート調査の結果と研究協力機関での実践などを踏まえて、自閉症のある児童生徒の自立活動の指導の授業を組み立てるうえでの要点を示すことを第2の目的とする。これらを踏まえて、特別支援学級において、自閉症のある児童生徒に対して自立活動の時間における指導を行うことの意義について考察する。

自閉症のある児童生徒の自立活動の授業を組み立てるうえでの要点を示すことは、教育現場の課題に寄与するものであり、また、特別支援学級担当教員の自閉症のある児童生徒に対する自立活動の指導への理解を深めていく一助になると考えられる。

第2節 研究の方法

（1）先行研究のレビュー

特別支援学級や特別支援学校（知的障害）などでの自閉症のある児童生徒の自立活動の指導に関する実践報告、自閉症児・者の学習面や生活面の困難さや学校卒業後の課題、それらへの指導・支援に関する研究論文のレビューを行った。

（2）アンケート調査の実施

小学校、中学校の特別支援学級（自閉症・情緒障害特別支援学級、知的障害特別支援学級）に在籍する自閉症のある児童生徒に対する自立活動の指導についての実態調査を行った。

（3）研究協力機関での情報収集と自立活動の指導上の課題の整理

特別支援学級での自立活動の指導上の課題について情報収集するために、特別支援学級の担当

者を対象とした公開研究協議会（平成 26 年 8 月）を開催した。

また、自立活動の指導を時間に位置づけて実施しているという基準で選定された研究協力機関 4 校での自閉症のある児童生徒に対する自立活動の指導について授業見学、担当者との協議を定期的（1 か月に 1～2 回訪問）に行い、指導上の課題や改善点について整理した。

（４）自立活動の授業を組み立てるうえでの要点の検討

研究協力機関での自立活動の指導の授業見学、先行研究、アンケート調査の結果を踏まえて特別支援学級での自閉症のある児童生徒の自立活動の授業を組み立てるうえでの要点について検討した。

（５）研究協力機関での実践

1 年次に明らかになった研究協力機関で共通する自立活動の指導上の課題と各研究協力機関の課題を踏まえて、担当者と協議を行いながら授業の改善を図った。

2 年次後半の実践では、自立活動の授業を組み立てるうえでの要点を意識しながら自立活動の実践を進めてもらった。

第 3 節 研究計画

平成 26 年度（表 2 - 1）は、特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒に対する自立活動の指導の現状と課題を把握するために、研究協力機関を訪問し授業見学と担当者との協議を通して情報収集を行った。

また、アンケート調査の実施に向けて調査票の項目を作成するために公開研究協議会を開催し、参加した 29 名の特別支援学級の担当者などから自立活動の指導上の課題について情報収集を行った。研究協力機関と公開研究協議会から得られた情報を基に調査票を作成し、研究協力機関での予備調査を経て 2 月に本調査を実施した。

平成 27 年度（表 2 - 2）は、前年度に実施したアンケート調査の分析を進め、調査報告書を作成した。研究協力機関においては、引き続き担当者が授業見学と協議を行い、前年度に整理された課題点の改善に向けて検討を進めてきた。

研究協力機関での指導上の課題や先行研究を踏まえて、自閉症のある児童生徒の自立活動の授業を組み立てていくうえでの要点について検討を行った。

表 2-1 平成 26 年度研究計画

	情報収集		アンケート調査の実施	研究協議会等
	先行研究の収集・整理	研究協力機関での情報収集		
4				
5				
6				
7				
8				公開研究協議会の開催 (8月21日)
9	特殊教育学会(9/28～9/30)での情報収集		調査票(原案)の検討	
10				中間評価 I
11				
12			調査票(原案)予備調査の実施	
1			調査票の確定、倫理審査	
2	自立活動の授業を組み立てるうえでの要点(案)の検討		アンケート調査の実施 アンケート調査締め切り(2月末)	中間報告書の提出
3			調査データの集計	第2回研究協議会の開催(3月14日) 研究報告会

表 2-2 平成 27 年度研究計画

月	研究協力機関での 実践・情報収集	アンケート調査の 分析・まとめ	研究報告書の作成	研究協議会等
4	研究協力機関での 情報収集（授業見 学・担当者との協 議）	調査結果の分析	自立活動の授業を 組み立てるうえ での要点（案）の再 検討	
5				
6				
7				
8		調査報告書の執筆	第 1 回研究協議会 開催（8 月 8 日）	
9	自立活動の授業を 組み立てるうえ での要点（案）に基 づいた実践の実施			特殊教育学会での 発表及び情報収集 （於：仙台）
10		アンケート協力校 への調査報告書の 送付	研究成果報告書 原稿執筆	中間評価Ⅱ
11				第 2 回研究協議会 開催（11 月 14 日）
12		特別支援学級設置 学校長会理事会へ の調査報告書の送 付	研究報告会	
1				
2			研究成果報告書提 出	
3				

引用文献

中央教育審議会初等中等教育分科会（2012）. 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）.

国立特別支援教育総合研究所（2014）. 平成 24 年度～ 25 年度専門研究 A「特別支援学校及び特別支援学級における教育課程の編成と実施に関する研究」研究成果報告書.

（柳澤 亜希子）